

「水力機械のキャビテーションとその対策について」

水力機械（ポンプ、水車、ポンプ水車）メーカーの技術者、発電所や各種のプラントで水力機械の運転や管理を行っている方々を対象に、水力機械のキャビテーション現象とその対策について学んで頂けるセミナーを企画しました。

本セミナーでは、キャビテーション現象の基本的理解について基礎講義およびキャビテーション見学により深めて頂き、その後、実際の水力機械で発生するキャビテーションおよびキャビテーションによる損傷事例、ならびにその対策について分かり易く説明するとともに、近年、水力機械設計への実用化が図られてきたCFDによるキャビテーション解析の動向および適用事例について解説します。

- ・協 賛： (社)日本機械学会、(社)電気学会、(社)火力原子力発電技術協会
(予定) (社)腐食防食協会、(社)日本船舶海洋工学会、(社)化学工学会
- ・日 時： 平成18年11月22日(水) 9:30～17:00
- ・会 場： (株)荏原製作所 羽田工場(東京都大田区羽田旭町11-1)
- ・参加費： 会員 36,000円、非会員 41,000円、学生 11,000円 (テキスト・昼食費込み)

【プログラム】

時 間	テーマ	内 容	講師(敬称略)
09:30～09:40	セミナーの概要説明	スケジュール、連絡事項等の説明	
09:50～11:00	キャビテーションの基礎	各種水力機器に発生するキャビテーションの発生条件、形態等について理論を交えて分かり易く説明する。	加藤洋治 東洋大学工学部 教授
11:00～12:00	キャビテーション見学	ポンプに発生するキャビテーション状況を模型試験装置にて見学する。	(株)荏原製作所
13:00～14:10	ポンプのキャビテーション	ポンプに発生するキャビテーションとキャビテーション損傷事例、対策および予測方法について説明する。	岡村共由 横浜国立大学大学院 工学研究院
14:20～15:30	水車のキャビテーション	水車に発生するキャビテーションとキャビテーション損傷事例、対策技術について説明する。	谷 清人 (株)日立製作所
15:40～16:50	CFDによるキャビテーション解析	CFDを用いたキャビテーション解析の動向と水力機械への適用事例について説明する。	深谷征史 (株)日立製作所 機械研究所

- ・定 員：60名
- ・申込方法：E-mailまたはFAXか郵送にて、【①参加者名、②連絡先住所・電話番号、③社名(学校名)・所属、④会員/非会員の別、⑤第72回セミナー】を明記の上お申込ください。
- ・参加費：事前に「現金書留」または「銀行振込」にてお支払いください。
- ・振込銀行：みずほ銀行 駒込支店 普通預金932599 ターボ機械協会
- ・申 込 先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル ターボ機械協会事務局
セミナー受付係(TEL:03-3944-8002、FAX:03-3944-6826、E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)
- ・申込期限：定員になり次第締め切ります。(なお、お申し込み後のキャンセルはできませんので、ご注意ください。)

*ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。「本セミナーのターボ機械協会CPDポイントは、中級54です。」